

2023年度一般選抜(学部学科試験・共通テスト併用方式)  
記述式問題 解答例

学部・学科:2月4日 文学部 史学科

問2

「明治日本の産業革命遺産」の登録をめぐり、韓国から、幾つかの構成資産では第二次世界大戦中に朝鮮人の強制労働があり、世界遺産に相応しくないとの指摘があった。正式登録後も、説明板の記述などをめぐって議論がある。

問3

仏教を信仰する人びとが、多くの餓死者を生じる現実を改善しようとするより、仏像の破壊を問題視しターリバーンに憎悪を募らせている事態に対し、自らに人びとを正しい方向へ導く力がないと嘆いていること。

問4

選択した問い番号

(1)

神は人間の力を超越した存在であり、それゆえに不可視なのであるから、それに人間の認識を投影し何らかの形を与えることは、神に対する冒瀆と考えられたため。

問4

選択した問い番号

(2)

奈良仏師の運慶・湛慶親子や快慶らが、焼失した天平美術を復興するためよく研究し、武家が文化の主要な担い手ともなる時代の空気を捉え、新しい文化を創造していったため。

問5

問題文は、文化財を、過去と現在を繋ぎ、未来を創り出してゆくうえで不可欠なものと捉えている。「文化財保護法」によれば、文化財には、無名の一庶民の作成・使用にかかる民俗文化財や、その人びとが共有する無形文化財が含まれ、それぞれに価値の優劣はないはずである。しかし、問題文ではこれらの重要性が十分にカバーされておらず、一定の芸術性や歴史性を伴うような有形文化財を、特別に価値のあるものとみなしている傾向がある。